

令和4年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

2023年5月11日

十文字学園女子大学

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☒ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程は文部科学省指針に合致し、適正に定められているが、“遺伝子組み換え安全管理規程”が定められたことにより、第7条1項（3）“安全管理に注意を払うべき実験（物理的、化学的に危険な材料、病原体、遺伝子組換え動物等を用いる実験）については、原則として本学では実施することはできない。”等一部改善すべき点がある
4) 改善の方針、達成予定時期 令和4年度内に改正が出来なかったため、令和5年度中に遺伝子組み換え安全管理規程等と照らし合わせ動物実験規程を整備する。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、十文字学園女子大学全学委員会通則規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会は適正に組織され、機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料

十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験様式（様式 1～10）
3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験規程および諸様式が適正に定められている。
4）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1）評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☒ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2）自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験計画書（様式 1）
3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組み換え安全管理規程が制定されたが令和 4 年度中に実施体制が整えられなかったため定める必要がある。なお、令和 4 年度中に該当する実験計画の審査はなかった。
4）改善の方針、達成予定時期 動物実験委員会にて安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について確認を行い、令和 5 年度中に実施体制の整備を定める。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1）評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験マニュアル、動物実験様式（様式 5、6-1、6-2）
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験マニュアル、動物実験自己点検票（様式 5）飼養・保管記録（様式 6-1、6-2）より確認。
4）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験計画書（様式 1）、同動物実験計画審査結果報告書・承認書（様式 2）、同動物実験実施結果報告書・確認書（様式 3）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（様式 4）、動物実験教育訓練実施記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 十文字学園女子大学動物実験規程に基づき、適正な活動を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験様式（様式 1～6）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告は適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験計画書（様式 1）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験様式（様式 5、6-1、6-2）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規程、動物実験自己点検票（様式 5）飼養・保管記録（様式 6-1、6-2）を確認し、適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験様式（様式 6-1、6-2）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験責任者による飼育室の温度、湿度等の環境条件の記録を様式 6-1、6-2 にて確認したため。飼育施設の維持管理に関しては管理者・実験動物管理者からのヒアリング等で確認できたため。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和 5 年度中に記録として今後適正に維持管理の記録を保管できるよう様式を定めることとする。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練記録、動物実験教育訓練資料、同参加者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 本年度は5回の教育訓練を実施した。実施日、場所、参加人数等詳細は別記した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 平成23年から令和3年度までの動物実験に関する自己点検・評価報告書（ホームページに公開済み）。自己点検は今回が12回目である。本報告書も公開予定である。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成23年度から令和3年度までの報告書はホームページに公開済みである。また、動物実験審査状況、飼養の状況や教育訓練の実施状況、動物実験規程についても、併せて公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

該当なし。

9. 本年度の活動のまとめ

1) 動物実験審査状況（令和4年度） 別紙表1のとおり 2) 各動物実験における動物種と飼養数（令和4年度） 別紙表2のとおり 3) 教育訓練実施結果（令和4年度） 別紙表3のとおり

別紙

表 1 動物実験審査状況（令和 4 年度）

部局名	動物実験計画書の審査のまとめ		
	許可件数	改訂後許可件数	不許可・取下げ件数
食物栄養学科	2	0	0
健康栄養学科	1	0	0
食品開発学科	7	0	0
計	10	0	0

表 2 各動物実験における動物種および飼養数（令和 4 年度）

計画書・報告書 番号	動物種と飼育数	
	マウス	ラット
2201	31	
2202*		33
2203	8	
2204	10	
2205		16
2206	42	
2207		11
2208		18
2209	25	
2210	2	
計	118	78

*学生実習

実験動物管理者記

表 3 教育訓練実施結果（令和 4 年度）

開催年月日	場所	参加人数			計
		教員	学生	その他	
令和 4 年 6 月 20 日	633		40 名	1 名	41 名
令和 4 年 6 月 29 日	Zoom		5 名		5 名
令和 4 年 7 月 1 日	Zoom		2 名		2 名
令和 4 年 7 月 5 日	Zoom		1 名		1 名
令和 4 年 7 月 5 日	Zoom		1 名		1 名

教育訓練 講師・内容等

第 1 回

日時：令和 4 年 6 月 20 日 16：20～17：50

場所：633 教室

講師：人間生活学部・食物栄養学科 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食品開発学科 教授（施設管理者）

内容：法令等（e-learning 動物実験の実践倫理）、機関内規程、実験計画書の作成、動物実験の方法及び実験動物の取扱に関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、安全確保、安全管理に関する事項、人畜共通感染症に関する事項

第 2 回

日時：令和 4 年 6 月 29 日 16：20～17：50

場所：Zoom

講師：人間生活学部・食物栄養学科 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食品開発学科 教授（施設管理者）

内容：法令等（e-learning 動物実験の実践倫理）、機関内規程、実験計画書の作成、動物実験の方法及び実験動物の取扱に関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、安全確保、安全管理に関する事項、人畜共通感染症に関する事項

第 3 回

日時：令和 4 年 7 月 1 日 10：40～12：10

場所：Zoom

講師：人間生活学部・食物栄養学科 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食品開発学科 教授（施設管理者）

内容：法令等（e-learning 動物実験の実践倫理）、機関内規程、実験計画書の作成、動物実験の方法及び実験動物の取扱に関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、安全確保、安全管理に関する事項、人畜共通感染症に関する事項

第 4 回

日時：令和 4 年 7 月 5 日 10：40～12：10

場所：Zoom

講師：人間生活学部・食物栄養学科 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食品開発学科 教授（施設管理者）

内容：法令等（e-learning 動物実験の実践倫理）、機関内規程、実験計画書の作成、動物実験の方法及び実験動物の取扱に関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、安全確保、安全管理に関する事項、人畜共通感染症に関する事項

第 5 回

日時：令和 4 年 7 月 5 日 13：00～14：30

場所：Zoom

講師：人間生活学部・食物栄養学科 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食品開発学科 教授（施設管理者）

内容：法令等（e-learning 動物実験の実践倫理）、機関内規程、実験計画書の作成、動物実験の方法及び実験動物の取扱に関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、安全確保、安全管理に関する事項、人畜共通感染症に関する事項